東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2125回例会　2010.5.27

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：
石山例会運営委員

■点鐘：山本次年度会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
熊木会員

■会長報告　山本次年度会長

このところ天気が良くありません。健康にご注意願います。本日は、現役の会長・幹事が不在です。幹事の代役は次年度幹事の中丸会員にお願いするところですが、本日は出席義務者として地区青少年交換委員会に出席の為次々年度幹事にと考えましたが、週報の議事を取っているため、次年度クラブ奉仕委員長の小町会員にお願いしました。
枚山会長は6月2日退院予定で10日の例会から復帰したいとの事です。

■幹事報告　小町次々年度会長

今日の私の立場は、先程山本次年度会長から説明があったので省略します。本日は代々行という事です。

■東村山活き生きまちづくり：
平成22年度通常総会の案内について
2010年5月26日（水）　17:00～
於　ＪＡ東京みらい東村山市店

■心の東京革命：
東京子ども応援協議会総会の参加案内について
2010年6月2日（水）　13:30～
於　東京都庁　都民ホール

■ガバナー事務所：
日程変更の連絡
「四大奉仕活動活性化大会（仮称）」
7月29日（木）→2010年8月5日（木）

■ロータリー財団：
ロータリー財団地域セミナー及びゾーンチーム会議開催のお知らせ
2010年7月2日（金）　9:00～
於　グランドプリンス高輪

■地区ガバナー：
「シェルターボックス」資料の受理

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸　繁男　野村　高章
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■心の東京革命推進協議会：
平成22年度協議会活動への継続支援及び会費納入のお願い
賛助金　￥10,000　(前年度額)の要請

■回覧：
「友」インターネット速報　No.429
小平ＲＣ週報
所沢中央ＲＣ週報

■出席報告　　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
37	27	2	7	79.41

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：7名
■前々回出席率メークアップ修正後：80.00%
■前々会メークアップ者：
相羽会員：新所沢ＲＣ
土方会員：地区委員会
目時会員：武蔵村山ＲＣ
二ノ宮会員：所沢中央ＲＣ
漆原会員：武蔵村山ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　　金子クラブ管理委員

◆中丸会員：次年度地区青少年会議出席の為、早退させて頂きます。

◆小町会員：本日幹事代理をつとめさせて頂きます。

◆山本会員：6月3日(木)まで確実に会長代行の勉強をさせて頂きます。よろしくご協力下さい。

本日のニコニコ合計：　　4,000円
累　　計　　：1,262,680円

■委員長報告

■當麻国際奉仕委員長

本日例会終了後、この会場で午後１時45分より世界大会の打ち合わせを行います。枚山会長の今年度のテーマでもある「国際交流を図り、ロータリーを楽しもう」を是非実践したいと思います。

■一年間の活動報告

■山本クラブ奉仕委員長

会長代役で約1ヵ月経ちましたが、幹事のころと違って幹事席の左側に座ることの重みを痛感しています。お陰さまで皆様のお顔をゆっくり見られるようになりました。5月20日･21日と二日間の炉辺会合出席有難うございました。私の会長方針を皆様に示すことが出来ました。
5月20日の会合には、クラブ奉仕・例会運営・プログラム・会員増強・会員研修の各委員長・委員に集まっていただき、特に五十嵐先輩からは出席率について厳しく問われ出席率の悪さを指摘されました。現状決して仕事は楽では無いと思いますが、頑張って出席していただきたい。45周年記念を間近に控え活気ある例会にしたいと思います。21日では、野崎先輩より「楽しく、明るい出席したくなるような例会」にする必要を提案されました。
その例会も規律のあるキチンとした運営であるべきだと考えています。二日間有難うございました。

本日はクラブ奉仕部門の1年間を振り返っての話、とのタイトルで一人3～5分程度で時間を頂いております。本年度は全て、現会長が決定し超リーダーシップを発揮されて実行されたのでクラブ奉仕委員長は、とても楽をさせて頂きました。詳しい活動内容詳細については、例会運営委員長の田中会員、プログラム委員長の飯田会員、クラブ管理委員長の中丸会員(次年度地区青少年交換会議へ出席)、会員増強委員長の戸澤会員、会員研修委員長の當麻会員に話をして頂きたいと思います。1年間皆様には大変お世話になりありがとうございました。また引き続き次年度も会長職として皆様より一層のご協力とご支援をお願い致しまして、私の話を終わりたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

■田中例会運営委員長

こんにちは。1年間を顧みてとの事ですので、まずは例会運営委員の皆様、会員の皆様に協力頂きました事、御礼申し上げます。新年度の初めに決意しました事、常に100％の出席率、1人の退会者も出さない、との目標は達成出来ていません。後1月ありますので最後まで頑張りたいと思います。魅力ある例会で楽しい例会、つつが無い例会の進行をいつも考えました。前半は菱沼事務局さんが治療の為、大変でありがたみがよく分かりました。もっともっと大事にしてあげなくてはと考えています。一年を通じお客様がいつ見えられても良いようにと一時間前の11:30設営完了との思いは達成できました。例会運営の皆様に活躍の場との思いで皆で協力しあい多少なりとも良かったのでは、と思っています。
私はロータリーの事は殆ど知らずに入会しました。同じ時期にあるクラブに熱心に誘われまして夜間例会に出ました。30分くらいの例会が終わり、カラオケ大会に移り2時間宴たけなわでした。田中さんも歌ってよ、と誘われましたが気が乗らず1曲も歌いませんでした。翌朝、紹介者に断わりの電話を入れました。その時の心境として、自分の意に沿わなかったからです。
その頃、相羽社長さんと野澤先生に誘われ参加した例会での中国の留学生の卓話に感動。今は中国に帰り頑張っています。今頑張っていられるのは東村山ロータリークラブの皆様のお陰です。これからは中国と日本の架け橋として頑張り恩返しがしたいと、何と素晴らしい団体なんだろうと、入会を決意しました。
入会して4年半、例会運営委員、週報担当2年、今年は杣山会長さんのご厚情で例会運営委員長として仇らせて頂き心より感謝しています。ロータリーに入会したのは間違っていなかったと確信しています。諸先輩の皆様に感謝申し上げます。
今年度、沖縄の宜野湾の式典での感動、親クラブ立川ロータリークラブの50周年記念例会、清水立川市長のご挨拶、立川の市政財政を支えておられるのは立川ロータリークラブの皆様のお陰であると、これからも多方面で立川をリードしていって頂きたいと、聞いていて鳥肌が立ち感動しました。最初に受けた入会した時の感動を思い起こしました。
微力ではありますが、一日一日を大事にし、いつか東村山が親クラブの立川を凌ぐ町の大きさ、会員の数で立川ロータリークラブに恩返しできたら良いなと思います。今後とも皆様も大事にし、お役に立てるよう頑張りますので宜しくお願いします。ありがとうございました。

■飯田プログラム委員長

1年間のプログラムチャートは杣山会長の方針に従って、決定させていただきました。7月は会長・幹事主催のクラブ協議会に始まり、新入会員のイニシェーションスピーチがあり、野村会員のバーミンガム国際大会報告でした。8月は会員増強月間で戸澤会員に1年間の思いを話して戴き、9月は新世代のための月間で卓話者は元日大三校野球部主将、東村山市長渡部尚様等で10月は、職業奉仕月間で、野崎一重職業奉仕委員長の卓話。米山として漆原米山奨学会委員長の卓話。11月に入りまして、ロータリー財団月間で二宮R財団委員長にお話をしていただきました。12月は家族月間でクリスマス親睦会開催。新年1月は、ロータリー理解推進月間で當麻会員研修委員長にお願いし、2月は世界理解月間という事で、株式会社ライフビジネスウェザー社長石川勝敏様に「気象と生活について」卓話をしていただきました。3月は識字率向上月間として當麻会員研修委員長として卓話をいただきました。また、イニシェーションスピーチとして五十嵐会員にもお願いしました。4月・5月はロータリー雑誌月間ですが、会員に発表の場を提供する目的で、イニシェーションスピーチを中條会員、山本次年度会長、中丸次年度幹事、目時会員、戸澤会員にお願いしました。また、土方パストガバナー補佐そして、6月の予定は鯉江地区世界社会奉仕委員長の卓話を用意しています。10日は職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各委員長、24日は会長・幹事の一年間を振り返っての卓話です。

■戸澤会員増強委員長

今年度増強委員長の戸澤です。私が入会した17年前は東村山ロータリーの会員は60名ぐらいいらっしゃいました。今年は入会者は昨年の飯田委員長から引継ぎ入会された中條さんが一人で私の場合まだ出来ていません。今年は何人かの方に紹介していただきお話をさせて頂きますが、なかなか入会までに行きません。今年の候補者を漆原次年度増強委員長に引き継ぐようにして次年度に期待したいと思います。

■當麻会員研修委員長

☆活動方針
本委員会はＣＬＰによりロータリー情報委員会が雑誌委員会と統合され、改組された委員会でありますが、会員にロータリーに関する情報を提供すると共に、会員に対しての研修をあらゆる機会を設け実施したいと思います。会長方針の中にも「ロータリーを語ろう」とあるように。

☆事業計画
1.入会候補者にロータリークラブにおける会員の特典と責務に関する情報を提供する。（増強委員会との連携）
2.会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供する。
3.新入会員（入会3年未満）に対するオリエンテーション。
4.ロータリー理解月間や雑誌月間にロータリー情報に関する、特別プログラムを実施する。

以上の一年間の計画は殆ど計画通り実行できました。特にロータリー情報に関する特別プログラムは合計3回にわたり、実施した成果は今までになく好結果であったと自負しております。会長テーマ通り「ロータリーを語る」ことができたと思います。

■特別卓話

■卓話者：嶋田会員

残り時間を利用して、御自分の病気について平成11年頃の状況から話始まり、白血病に似た病気が原因であった。血液中のヘモグロビンが減ってしまい、貧血状態となり絶対的に入院しなければならない状況となった。自治会の会長・ロータリーの会長・農協の専務等を兼務していて、三つの役職が重なってストレスとなり発病した様でした。平成12年頃に周囲の人々から顔色が良くないとの指摘を受け事がきっかけで、再生不良性貧血症かな？との診断でした。その後輸血をしてから薬を毎日飲み続け平成15年頃に健康を維持できなくなり、白十字病院から多摩老人医療センターの血液科に移り骨髄液を採ったりしたものの、更に専門施設を勧められ国立癌センターへ行くことになりました。療法として骨随移植しかないとのことで、兄弟8人を検査した結果2人が合いそうだったが、結局健康体では無かったので諦めることになった。ドナー登録をして自宅近くの病院で輸血をしながら2年過ごし、その間急性白血病になったら1週間しか保たないと言われていたので、頑張って治療していました。一人目のドナーは不運にも直前で断られたが、一月後にもう一人見つかり、神様は私を見捨てなかったと実感した。虎ノ門病院で動物のタンパク質を使った抗がん剤を2回実施し、同室の方の副作用を見て心配だったが、幸い何ともなく過ごす事が出来ました。臍帯血移植・骨髄移植・ミニ移植の3通りのうち国立癌センターでは研究が始まって、3年目に入るミニ移植（国が全額費用を賄ってくれる）を受け非常にタイミングが良かった。でも病気に決して負けてはいけないという気持ちで向かえば必ず健康は戻る。そして、ロータリーにも戻ってこれました。また、機会があったらこの続きをお話ししたいと思います。

■点鐘：山本次年度会長